



【経済産業部】

「ビジネス視点でSDGsアクション」 始めてみませんか？

No.8

「SDGs」をご存じですか？

SDGsは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標で、17のゴールと169のターゲットから構成されています。経済、社会

及び環境の三側面における持続可能な開発を統合的取組として推進し、SDGsの達成に向け、世界中でその取組が進んでいます。



経済産業部では、県内企業のSDGsへの取組を加速化させるため、様々な取組を行っています。今回はその取組をご紹介します。



「ビジネス視点からのSDGsシンポジウム」開催

今年1月23日、ビジネスの場でもSDGsを活用してもらうための方策などについて考える「ビジネス視点からのSDGsシンポジウム」を開催しました。

基調講演「SDGsを活用したブランディング」では、企業やスポーツチームなどのブランディングやSDGsに深い知見のある株式会社エススリーブランディング 代表取締役 川田勝也氏より、企業のブランディングにSDGsを活用し、各地域や企業などとの連携によって、新しい価値の創造にもつながることができると紹介がありました。



基調講演の様子

次に、「ビジネス視点で取り組むSDGsアクション」をテーマとし

たパネルディスカッションの内容の一部を紹介します。

●マーケティング視点からみたSDGsの推進の意義とは？

モノやサービスが豊富な現代において、売り込みしても必ずしも購買にはつながりません。今後、ミレニウム世代がユーザーなどに入ってくる中、マーケティングのひとつとして「社会のためになるSDGs」を共通言語として発信することが大切です。またSDGsを効果的に発信すること、イノベーションを起こせる可能性もあります。

●どのゴールにアプローチしていくのか？

SDGsの17ゴール全てについて考えることを通し、自社事業では考えてこなかった社会課題に気づきビジネスが生まれることもあれば、17ゴールのうち、コアとなる事業部分を重点的に取り組む中



パネルディスカッションの様子

ファシリテーター

●伊波 貢 氏
(ブルームーンパートナーズ(株) 代表取締役)

パネリスト

●川田 勝也 氏
(株) エススリーブランディング 代表取締役

●豊川 明佳 氏
(沖縄大学法経学部 准教授)

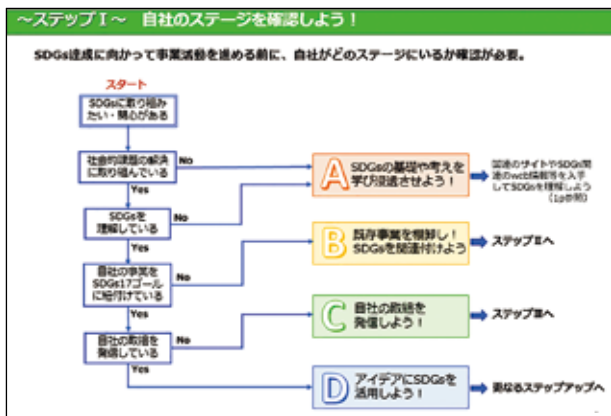
●棚野 浩 氏
(株) OTS サービス経営研究所 代表取締役

●喜納 朝勝 氏
(沖縄県中小企業家同友会 代表理事)

●鈴木 薫 氏
(独) 国際協力機構沖縄センター 次長

で、異業種と接点を持って進めていくようなこともできます。アプローチの方法は様々ですが、まずは自社の現状を確認する「指針」としてSDGsを活用することもひとつの方法です。

最後に、ファシリテーターから、「SDGsは国際的に、企業を始めとする社会が取り組まなければならないものだと思います。沖縄



SDGsチェックツールの一部



SDGsへの取組に二の足を踏んでいる企業の背中を押すため、検討委員会の議論を踏まえて「チェックツール」を作成しました。事業を棚卸ししつつ、17ゴールへ紐付けを行う際の参考とするためのツールです。

なお、このようなツールはこれまで

で積極的に取り組む企業や、沖縄だから保有する技術などもあり、世界に貢献できる可能性がります。自社の事業で社会にどう貢献していくか、具体的に考えるところからスタートしてほしい」と参加者へ向けてメッセージを送りました。



ローンチイベントの様子

「OKINAWA SS Project」を昨年10月19日に立ち上げました。地域の清掃活動への参加など取組を進めています。

当部が推進している沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会では、社会課題を解決する商品・サービス提供を行う県内事業者と県内プロスポーツチームとともに、SDGsの達成に寄与する活動を目的とした



チェックツールは当局経済産業部HPで公開しています。
(<http://ogb.go.jp/keisan/20200203>)



沖縄初！「SDGs実装ゼミナール」開催

国内においても、持続可能な開発目標（SDGs）を企業などの経営戦略へ実装していく取組が始まっています。沖縄総合事務局がこれまで向き合ってきた地域課題でもある「こどもの貧困」「北部振興・離島振興」などはSDGsに掲げられた目標にも合致するものです。しかし、SDGsという概念が一般的に浸透し始めてきたとはいえ、社会課題の解決と自社のビジネスをどうリンクさせていくのか、どのようにマネタイズ（収益化）していくのか、その仕組みを構築するのは容易なことではありません。とはいえ今後は、持続可能な世界を実現するための取組が、ビジネスの上の差別化戦略としての強みにもなり得ると期待されています。

そこで、沖縄地域の企業がSDGsに対する理解を深めつつ、自社の経営戦略に具体的に落とし込んでいく手順やその進め方などについて、ワークショップなどを通じて学ぶための『SDGs実装ゼミナール』を開催することといたしました。12月から3月にかけて合計6回の講座を実施予定です。SDGsへの理解を深めるためのカードゲームやワーク

ショップ等を体験してもらい、SDGsの17の目標と自社事業の関連性を踏まえて、改めて社会に貢献できる事業領域や商品・サービス等の検討を行い、最終的にはSDGsを組み込んだ事業計画を策定することを目標にしています。

実装ゼミの開催にあたっては、建設業、ホテル業、広告業、製造業、金融業、飲食・サービス業等の幅広い業種の企業（計11社）が参加し、業種を超えた交流を重ねながら検討を行っています。3月に行われる各社の事業計画最終プレゼンテーションに向け、鋭意取り組んでいるところです！



【お問い合わせ先】

企画振興課

エネルギー対策課

☎098-866-1727
☎098-866-1759